

学校関係者評価委員会		日時	令和2年2月27日		午前9時00分から午前10時25分
		場所	大阪電子専門学校 就職課ミーティングスペース		
出席者	<p>[情報エンジニア科] 大音 和豊 (株式会社モノプラス)、吉田 剛 (株式会社ベルチャイルド)、長谷川 耕平 (国立大学法人神戸大学)</p> <p>[電子工学科] 大音 和豊 (株式会社モノプラス)、吉田 剛 (株式会社ベルチャイルド)、長谷川 耕平 (国立大学法人神戸大学)</p> <p>[電気設備科] 乾 克彦 (大阪電業協会)、岩本 浩一 (株式会社キンコー)、高松 光示 (中央電設株式会社)、渡邊 隆行 (株式会社セイコー)</p> <p>【委員以外の出席者 (本学教職員)】 木村 誠 (学校長)、上田 良和 (教務課班長・電気設備科・電子工学科)、松本 哲也 (就職課・情報エンジニア科)</p>				
司会 (議案)	松本	委員長	大音		書記 中本
(会議の経過)	<ul style="list-style-type: none"> ・本委員会の目的の説明 ・委員長の選出 ・校内見学および現在の当校の状況説明 ・学校長より委員の皆様へのご挨拶 ・委員の皆様のご紹介 ・パンフレットを用いて当校の紹介 ・本委員会の目的の説明 ・委員長選出 (情報エンジニア科・電子工学科・3学科全体) 大音様 (電気設備科) 岩本様 ・学校内視察、及び現状の説明 ・校内アンケートの集計結果の公表および説明 ・質疑応答・意見交換 ・女子学生について 電気設備科にて入学できるような受け口を作っていただくことを希望 ↑女性の電気工事士に教鞭や指導という形でご協力いただけないか？それによって女子学生の電気設備科に受け入れやすくなる(学校長) ・留学生について 出稼感が強く、腰を据えて仕事しようと考えている者が少ない 日本語やコミュニケーションがとれない 未経験のため、法的問題、手続き方法を教授していただきたい ・障害者について 雇用の実施は検討しているが、会社として手探り状態 ケースバイケースで受け入れもできるかと考える 発達障害者については教師がフォローできる部分もあるのではないかと 少子化の中、女子や留学生の労働力が必要となってくるのではないかと。採用する際に今後ともご配慮をお願いしたい。(学校長) 質疑応答をもって学校関係者評価委員会は終了となった。 				
					以上